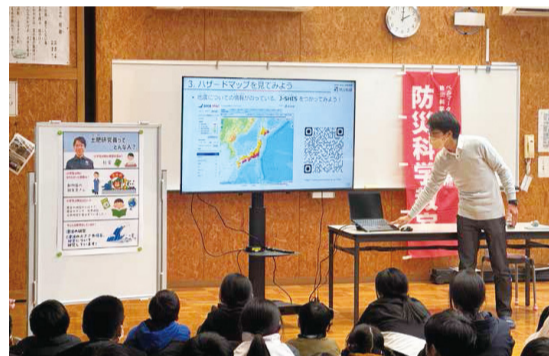


# ベルマーク新聞 4月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都墨田区両国3-25-5 JEI両国ビル9階 〒130-0026 電話 03-5638-2320(代表)  
郵便振替口座 00100-7-56035 ホームページ <https://www.bellmark.or.jp/>

## 春の陽気とともに、新年度始まる

### 新年度資料をお届け／ソフト事業「教育応援隊」募集中



各地で桜が満開を迎える中、2025年度が始まりました。皆さん、ご入学・ご進級おめでとうございます。今年度も、活動に必要な資料のセットを参加団体にお送りします。5月の連休前までにお届けできるよう、発送作業を進めています。

資料の内容は、まず「ベルマーク手帳2025」「お買いものガイド2025年度前期(No.128)」「ベルマーク一覧表2025年度版」の3点です。活動の進め方や協賛会社のベルマーク付き商品を紹介しているのが手帳、協力会社の取り扱う主な商品を掲載しているのがガイドです。どのような商品にマークが付いているかをまとめた一覧表は、各参加団体の児童・生徒数+30枚をお届けします。

ほかにも、仕分け・集計したベルマークを財団に送るときの整理袋一式、合計

点数を記入するベルマーク送り状、お買いものの注文書なども入っています。



新年度が始まると同時に、ソフト事業「教育応援隊」の募集も開始しました。「オーサー・ビジット」「防災科学教室」「ミズノ・走り方教室」「絵本を届ける運動」の4つのプログラムを用意しています。

**オーサー・ビジット** 人気の本を書いた著者(オーサー)が学校を訪問(ビジット)し、とっておきの授業をする、朝日新聞社との共同企画です。2025年度も、絵本作家の宮西達也さんが講師を務めます。朝日新聞社の朝日ID (<https://que.digital.asahi.com/question/>)にある申し込みフォームからご応募ください。締め切りは7月4日(金)。訪問校に決まったら、ベルマーク預金から3万円(別途

消費税2700円=代金の9割にかかります)をお支払いいただきます。

**防災科学教室** 国立研究開発法人防災科学技術研究所(防災科研)との共催で、防災科研の研究者が講師を務め、災害の起こる仕組みや備えなどをお話しします。費用は無料です。

**ミズノ・走り方教室** 走り方のコツを学べる教室で、小学校を対象に計8校で開催します。開催時期を前半と後半に分け、それぞれ抽選で開催校を決めます。45分授業を2~4回実施することができます。開催が決まったら、ベルマーク預金から3万円(別途消費税2700円)を支払っていただきます。

**絵本を届ける運動** アジアの子どもたちに現地語の翻訳シールを貼った絵本を届ける、公益社団法人シャンティ国際ボ

ランティア会の活動です。対象は中学校と高等学校。実施校数は申し込み順に16校です。1セット3000円の費用は財団が負担しますが、完成品を返送する費用は自己負担をお願いします。

教育応援隊募集チラシは、2025年度版新年度資料と一緒に届きます。チラシや各プログラムの申込書は、HPトップ>ダウンロード>教育応援隊からもご覧になれます。

お申し込みを  
お待ちしております



## 「元気に喜んで使っています」

### 鹿児島・奄美市立節田小から感謝メッセージ

2024年度に財団が支援したへき地学校のひとつ、鹿児島県の奄美市立節田小学校(池田誉校長、児童35人)から感謝メッセージと写真が寄せられました。

新しいCDラジカセと一緒に写っているのは1年生の児童です。調子が悪くなっていたCDラジカセを新調することができました。子どもたちの様子を「毎日の朝の会で、歌をうたいます。元気に喜んで使っています」と山内健太郎教頭が教えてくれました。

他に、正門に置かれた時計や、太鼓の指導でマイクを活用している様子、給食試食会で机を使っている様子の写真も届きました。

同校は奄美大島の北東部にあります。学校周辺の環境については「校区内には奄美空港や、奄美パークがあります。奄美パークは、奄美の文化や画家の田中一村についても知ることのできる施設です。ぜひ節田にお越しください」とのことです。

今回の寄贈を受けて、「以前赴任していた大規模校でベルマーク運動の推進に携わっていたことがあります」と山内教頭。参加団体(学校)の日々の活動によって実現しているへき地学校への支援について、「このような形でベルマークが活用されていることを知り、活動の良さを感じました」と語ってくれました。



①CDラジカセ ②太鼓指導でマイクを使用 ③新しい机を使って給食試食会 ④時計は正門前に